［第 40 回通常総会結果］

「事業報告」経営活動も多忙をきわめるなかで、ご支援・ご協力を頂きました会員の方々に心からお礼申し上げます!!

「事業計画」 経営者の方々の研鑽と情報の共有に力点をおき、事業を推進していきます!!

第 40 回通常総会は、過ごしやすい気候となった 5 月 11 日(木)17 時より、HOTEL THE KNOT YOKOHAMA において、58 名の出席で開催いたしました。

定刻 17 時、勝木洋平総務委員長(写真右)の司会で始まり、慣例にて会長挨拶は懇親会の場にて行うこととし、総会が成立していることを報告し、会則に沿い加藤卓郎会長を議長に選任し議事に移りました。

［第 1 号議案　令和 4 年度事業報告］

当会は、コロナ禍の環境下にありながらも、セミナーや朝食会ではタイムリーなテーマでの開催に努力し、研鑽と共有に努めてきました!!

議長より、議事録署名人に㈱民蔵 後藤淳一氏を任命、第 1 号議案「令和 4 年度事業報告」を山口喜久雄事業委員長より「当会は、コロナ禍の環境下にありながらも、セミナーや朝食会ではタイムリーなテーマでの開催に努力し、研鑽と共有に努めてきました。感染対策に加え激変する社会・経済情勢下で、経営活動も多忙をきわめるなかで、ご支援・ご協力を頂きました会員の方々に心からお礼申し上げますと共に、ここに前期 1 年の事業を報告させていただきます」と述べ、各種事業の実施ですが、1.の朝食会につきましては、第 344 回～第 353 回まで都合 10 回開催、第 346 回までは朝会として開催いたしましたが 347 回より朝食会として開催、出席者も平均 40 名の参加をいただき、経営活動に必要なテーマを中心に開催、納涼事業、経営者セミナー、経営者セミナー、その他の事業など予定通り遂行できました」と報告、関曙慶広報委員長より、広報活動について報告されました。

［第 2 号議案　令和 4 年度決算報告並びに監査結果］

令和 4 年度も、厳しい財政状況下にありながらも当期収支の範囲内で収まりました!!

引き続き、佐伯武文会計理事より「令和 4 年度決算報告」について、令和 4 年度収入は 5,279,768 円に前期繰越金 313,016 円を加えまして 5,592,784 円となりました。

支出は 5,148,188 円となり、令和 4 年度期末余剰金は 444,596 円となりました。なお、特別積立金は 3,003,116 円です。」と述べ、決算報告書に基づき報告されました。

監査結果については、議長より報告され、以上の議案について、議長これを諮ったところ特に異議なく、全会一致承認いただきました。

［第 3 号議案 令和 5 年度事業計画］

先の読めない環境下で難しい対応を余儀なくされる経営環境にあることから、当会の活動の基本であります、経営者の研鑽と異業種間の交流は益々重要性を帯びてくると判断しております!!

第 3 号議案に移り「令和 5 年度事業計画」について、山口喜久雄事業委員長より「景気の回復が期待されますが、経済見通しを巡る不確実性は極めて高く、加えて海外経済の影響も大きいことから、今年度も先行き不透明感が増す中での経営の舵取りをせざるを得ない 1 年と予想されます。

こうした、先の読めない環境下で難しい対応を余儀なくされる経営環境にあることから、当会の活動の基本であります、経営者の研鑽と異業種間の交流は益々重要性を帯びてくると判断しております。

(議長を務める加藤会長)　(山口事業委員長)　(関広報委員長)　(佐伯会計理事)

当会も、本年 11 月には創立 40 周年を迎えることから、創立以来続けております朝食会を中心に、経営活動に必要な情報の提供と長年築いてき会員間の相互信頼関係を大切にしながら、経営者の方々の研鑽と情報の共有に力点をおき、事業を推進していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします」と述べ、各事業方針について提案、関広報委員長より、広報活動について提案いたしました。

[第４号議案 令和５年度の予算]

社会活動も通常に戻りつつあることから、コロナ禍前の予算編成にいたしました!!

続いて、佐伯武文会計理事より、第 4 号議案「令和 5 年度の予算」につきましては、社会活動も通常に戻りつつあることから、コロナ禍前の予算編成にいたしました。収入は 5,826,000 円、前期繰越金を加えまして 6,270,596 円といたしました。支出は、5,596,000 円、特別積立金繰入 300,000 円、予備費を 374,596 円といたしました」と述べ、予算資料に沿い提案いたしました。以上の提案に対し、議長これを諮ったところ、特に異議なく全会一致可決いただきました。

[第５号議案　令和 5.6 年度役員選出]

原則として、現役員については留任いただき、欠員や企業の人事異動など、推薦いたしたい!!

議長より、「今季は改選期にあたります。役員選出の考え方として、原則として、現役員については留任いただき、現行の役員体制に欠員などが生じていることや企業の人事異動などもあることから、記載の方々を推薦することといたしたい。理事については、㈱オカムラの山木さんが荒川和巳さんに変更になります。

また、欠員の補充として、㈱エリアドライブ福井二郎氏さんでお願いいたしたい。次に、監事ですが、㈱イケ建築事務所 池谷透氏、横浜信用金庫横浜西口支店長 森廣訓司氏願いしたい」と提案、全会一致確認いただきました。

理事が確認されたことから、役員体制に移り、現三役体制に新山雅芳理事を副会長に推薦することを提案し承認いただきました。

[第６号議案　会則改定]

勝木洋平総務委員長より「会則第３章役員等 第９条２項「副会長６人以内」を「7 人以内」に改定することといたしたい」と提案、特に異議なく可決いただきました。

[来賓挨拶]

経済局は、昨日から人手不足の対応として大手転職サイトのデューダと連携した人材採用事業の募集を開始したところです。是非、エントリーしていただければと思います。

議案も滞りなく進んだことから、来賓挨拶にうつり、星﨑雅代経済局長(写真左)より「みなと工業会の皆様には横浜市の経済の推進にご理解とご協力を頂いておりますことにお礼申しあげます。みなと工業会は伝統ある朝食会をコロナ禍にも関わらず開催され、４月の朝食会には経済局をお招きいただきまして本年度の事業をご説明させていただきました。5月８日にコロナが５類に移行いたしまして、ようやく経済活動が本格化していこうとしておりますが、資源高、物価高、人で不足が重なりまして、皆様方の経営環境大変厳しい状況にあると考えております。

経済局は、昨日から人手不足の対応といたしまして大手転職サイトのデューダと連携した人材採用事業の募集を開始したところです。昨年度は、５０名程度の採用に繋がった事業で新たな採用を考えの企業様、是非、エントリーしていただければと思います。

経済局は、脱炭素、DX 等積極的に支援していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。」と挨拶されました。

来賓紹介に移り、横浜市経済局中小企業振興部長 益田 祐輔氏、同じく経済局中小企業振興部ものづくり支援課長　黒柳純子氏、同じく、担当係長　深沢俊一氏、横浜企業経営支援財団理事長 菅井忠彦氏、同じく、経営支援部イノベーション支援課長 森原雄一氏、横浜信用保証協会経営支援部長 秋月秀夫氏、横浜市工業会連合会総務部長　浅 葉一幸氏を紹介、総会も滞りなく開催できたことから、閉会の辞を桝本心副会長(写真右)よ、出席いただいたご来賓にお礼を述べ「只今、令和５年度の事業計画並びに予算を中心に各議案可決いただきまして、心からお礼申し上げます。

今年度にはいり、コロナ禍も落ち着きを見せており、社会・経済活動もコロナ前に戻りつつあります。こうした認識に立ちまして、今年度は３年ぶりに事業計画及び予算もコロナ禍前に戻しての計画とさせていただきました。会員間の相互信頼関係を大切にしながら、今年 11 月には、創立 40 周年を迎えますので、次の 50 年に向けまして、役員一同新たな視点に立って事業を推進してまいりますので、ご支援・ご協力もお願いいたします。」と挨拶され、総会を閉会いたしました。

「懇親会」3 年ぶりに立席での懇親、笑いも絶えず会話もはずみました!!

引き続き、同会場に懇親会に移り、勝木総務委員長が総会に続いて司会を努め、加藤卓郎会長(写真右)より、「「第 40 回総会並び懇親会にご出席いただきましてありがとうございます。

令和４年度はコロナ過とコロナが終わった後の急激な経済の変化で非常に我々企業を預かっているものとしては、大変な状況に合ったというのが現状でして、特に材料の高騰、部品の供給も追いつかない状況もございまして、それがコロナ以上のマイナスのインパクトがございました。ようやく令和５年４月になりまして、少しずつ一段落したなとの気がしておりまして、この

まま順調に回復してくれれば良いなと思っております。特に、新年度におきましたは、経済局には多大なご支援をいただきましてありがとうございます。

各工業会もそれぞれ 40 周年を迎えますが、40 年も大きな節目ですし新たな第一歩でもあります。JFE スチール東日本製鉄所も 2023 年 10 月に閉鎖が決まりまして、川崎市の説明を受けましたが、新たな水素燃料を軸にした事業を展開するとのことです。皆様方もこの４０年を新たな第一歩として事業に取り組んでいただけたらと思っております。どうぞ懇親会で意見交換等、十分お楽しみいいだければと思います。宜しくお願い致します」と挨拶されました。

引き続き、横浜企業経営支援財団菅井忠彦理事長(写真右)より「みなと工業会の皆様方におかれましては、これまでも朝食会等にて当経営支援財団の事業の紹介や掲載をいただきありがとうございます。新型コロナウイルスも５類に移行され行動制限の制約などがなくなりました。

３年４ヶ月のトンネルをやっと抜け出して社会経済活動正常化に向かって大きな区切り迎えていると思います。しかし、トンネルを出たあとの景色は大きく変わり経営環境も変わってしまいました。私達はコロナ禍で学んだ教訓を活かしながら新しい市場にむけて様々な取り組みを行っていかなければならない中で IDEC は横浜市の中地域密着型のセンターとして様々な専門家によります各種の経営相談等を行っておりますので、非、ご利用いただきたい。」と挨拶いただきました。

乾杯に移り中区役所 小林英二区長(写真左)より、「区役所といたしましたも、コロナの最前線で戦い令和５年度を迎えていますが、中区・西区は横浜の顔と認識しておりまして、横浜が元気であるためには西区と中区が元気であること、みなと工業会も元気であることが横浜の元気につながっております。中区も 2027 年に区政 100 周年を迎えますので区役所といたしましても全力で取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。」挨拶いただき、乾杯の唱和をいただきました。歓談に移り、久々の立席での懇親とあってコロナ禍前にもどり、笑顔皆さん笑顔で会話もはずみ予定時間まで会話も途切れることもなく、19 時 35 分、花本副会長より。ご多忙のところ出席頂いたご来賓と会員の方にお礼を述べ、一本締めで閉会いたしました。

(閉会挨拶をする花本副会長)